

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況 (2022年2月度)

- 参加手続きが完了しているISP (インターネット・サービス・プロバイダ) は**69社**。
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**1,686件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**231件**の対象を検知しISPへ通知。

NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

1,686件 (1月度:1,665件)

(参考) 2019年度からの累積件数: 34,413件
ID・パスワードが入力可能だったもの: 9.6万件

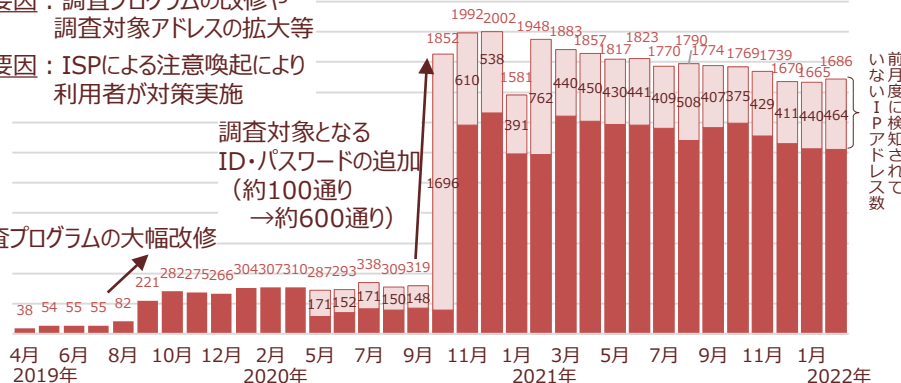
*) 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)

増加要因: 調査プログラムの改修や
調査対象アドレスの拡大等

減少要因: ISPによる注意喚起により
利用者が対策実施

調査対象となる
ID・パスワードの追加
(約100通り
→約600通り)

調査プログラムの大幅改修



(2020年4月度は調査を見合わせ)

NICTER注意喚起*の取組結果

※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均231件 (1月度:198件)

(参考) 期間全体での値: 1日平均220件
最小: 40件(2021/2/10) / 最大: 3,227件(2020/8/24)

***) NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)

